

リーディングDXスクール事業【情活能力育成】

大阪市立西淀中学校

【生徒が自立的に学ぶための情報活用能力の具体的な育成実践の例】

「情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の過程で育成する情報活用能力①



生徒主体の活動計画
「防災について調べよう」

- 校外での防災学習に向けた活動計画を生徒が考え、学年のClassroomに共有。
- 防災について調べ学習を行い、情報の真偽を見極めながら整理する。
- 調べた内容をクイズ形式にして出題し知識の定着を確認する。

<生徒の反応>

作成中は、友だちと「これクイズにしたらいんじゃない」と交流ができてよかったです。



クイズ形式にしたことで、情報のもとが正しいかを意識して調べることができました。また、難しい問題を出すために深掘りしていくのが楽しかったです。



実行委員会通信

実行委員会 広報係

NO.2

各係の進行状況

広報 第一回の会議で話し合ったことをまとめておりの内容を考えて制作中!!!

総務 事前協議や校外学習当日に向けて、司会の内容を制作中!

広報 事前協議のときに見せるスライドや、実行委員会の活動の通信を制作!

制作 防災クイズの内容を考えて、ポスター制作をしている!!!

防災について

皆さんは、防災についてどう考えていますか?

災害では、日常の備えと素早い行動が大切です。

水や食料、懐中電灯を準備し、家具の固定や避難場所を確認しておきましょう。

実際に、2011年の東日本大震災では家屋の転落で多くの人が発生し、2018年の西日本豪雨では早めの避難した人の多くの命を救うことができました。こうした事例から、「まず身を守る」「危険を感じたら早め行動する」と事前の基本的なことがわかります。

活動の様子

みんなでも準備して、この準備作業を確認するために各係別で話し合っています。

校外学習までに意識してほしいこと

まず1つ目は、災害について知り、家の避難場所や連絡方法を家族と確認しておくことです。

そして2つ目は、防災グッズを準備し、学校や地域の避難訓練にしっかり参加することでいざというときに落ち着いて行動できます。普段の備えが自分や家族を守ることに繋がります。

活動の様子

実行委員は校外学習に明け、15:15から取り組みを考大ながら各係別での活動を行っています!!!



↑活動計画について話し合う実行委員会
生徒一人一人が作成した「防災クイズ」→

防災クイズ【総合版】

地震・火災・風水害の知識を身につけよう

学習したいカテゴリを選択してください

各カテゴリ10問ずつの防災クイズです

地震編 緊急地震速報、避難方法、震度とマグニチュードなど 10問	火災編 消火器の使い方、避難方法、煙感知器など 10問
風水害編 台風対策、洪水避難、気象情報など 10問	津波編 津波警報、避難方法、津波の特性など 10問

阪神・淡路大震災が発生した正確な時刻として正しいものを一つ選んで *1ポイントください。

- 午前5時15分
- 午前5時46分
- 午前6時30分
- 午前6時42分

阪神淡路大震災で大勢の人が亡くなった原因として、最も多かったのは *1ポイント次のうちどれですか。

- 火災によるやけどや煙を吸いこんでしまった
- 津波による溺死(できし)
- 倒れた建物や家具の下敷きになったこと
- 大規模な土砂崩れや地割れ

どのような力を育成することを目指して取り組んだか

実行委員会などでは、生徒主体で活動計画を立てることで自律的な学びを深めている。活動計画は学年全員に共有されるため、生徒一人一人が学びのゴールを把握し、自己調整しながら活動を進めることができる。本実践では、生徒一人一人が調べたことをもとにクイズを作成することで、情報の真偽を確認しながら主体的に学びを深めることができた。

【生徒が自立的に学ぶための情報活用能力の具体的な育成実践の例】

「情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の過程で育成する情報活用能力②

 相互参照でアイデアを共有
「校外学習後のまとめ学習」

- 校外学習で学んだことをスライドにまとめる。
- スライドをもとに、身のまわりの防災や自分の役割について振り返る。
- 他者参照しながら学習を進めることで防災に関連するアイデアを共有する。

スプレッドシートを学びの起点に

	共同編集用URL		共同編集用URL		共同編集用URL
1組1班	1組1班	2組1班	2組1班	3組1班	3組1班
1組2班	1組2班	2組2班	2組2班	3組2班	3組2班
1組3班	1組3班	2組3班	2組3班	3組3班	3組3班
1組4班	1組4班	2組4班	2組4班	3組4班	3組4班
1組5班	1組5班	2組5班	2組5班	3組5班	3組5班
1組6班	1組6班	2組6班	2組6班	3組6班	3組6班

※ 様々な教科で、スプレッドシート上に共同編集用のリンクを共有し、生徒一人一人が自分のタイミングで他者参照できるようにしている。同じデータの別のシートに単元計画や評価基準を提示する場合もあり、生徒は学びの起点としてスプレッドシートの活用が定着している。

展示品を拝見したうえでわかった事実

西館二階の防災・減災体験フロア
防災用品展示コーナーなどがあり防災用品について学ぶことができました。

西館三階の震災の記録フロア
自然災害の被害や体験した人の思いについて学ぶことができました。

西館四階の震災追体験フロア
阪神淡路大震災の恐ろしさについて体験し学ぶことができました。

東館一階の心のシアター
どのようにして自分の命を守るか、どのように逃げればよいか学ぶことができました。

東館三階のBOSAIサイエンスフィールド
災害はなぜ起きるかなど災害について根本から学び体験しました。



わかった事実
災害は恐ろしいこと。災害をなくすことはできないこと。
防災準備を用意していても避難できないこともあること。
しっかりと防災準備し、避難訓練をし、知識をつけ、いつ災害が起ころとも逃げられる状態にしておくこと。

まとめ

～展示からわかった震災の事実と地域の助け合いの工夫～

- 人と未来防災センターの再現映像や展示品から災害は恐ろしいことであり、なくすことはできないということ。
- 避難準備をしていても避難ができないことがあるということ。
- しっかりと防災準備をして、避難訓練などで知識をつけ、いつ災害が起きてても逃げられる状態にしておくこと。
- 『自助・公助・共助』などのそれぞれの人々（例 中学生）の役割をもって、行動することが大切なこと。

～日常のつながりが災害にどう生きるのか～

日常から地域の人々からのつながりを持っておくことで、災害発生直後の救急隊が来る前に協力して、地域の人々を助ける『公助』などの『助ける力』、地域全体で正しい情報を共有しあう『知る力』、避難生活での不安や孤立を声掛けて和らげる『支える力』などに生きて、これらの3つの力をまとめて、『日頃の顔見知りや、非常時の命綱になる』とまとめることができます。

<生徒の反応>

日ごろの防災準備や避難訓練といった防災対策がいかに大事か理解できました。

日常生活と関連付ける

もし、災害が起こったときに、自分に何ができるだろう……。地域の取組をもっと調べてみよう……!

探究的な学びへ



どのような力を育成することを目指して取り組んだか

情報を収集し、目的に応じて整理・分析を行い、まとめたことを表現する活動を繰り返し行うことで、生徒自身が課題意識を持ちながら自己調整する過程で情報活用能力を高めることを目指しました。自由に他者参照できる仕組みを基盤とすることで、他者と協働しながら多面的・多角的な視点を獲得し、論理的に考える力を育成することができました。

【生徒が自立的に学ぶための情報活用能力の具体的な育成実践の例】

「情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の過程で育成する情報活用能力②



相互参照でアイデアを共有
「校外学習後のまとめ学習」

- 1 校外学習で学んだことをスライドにまとめる。
- 2 スライドをもとに、身のまわりの防災や自分の役割について振り返る。
- 3 他者参照しながら学習を進めることで防災に関連するアイデアを共有する。

スプレッドシートを学びの起点に

	共同編集用URL		共同編集用URL		共同編集用URL
1組1班	1組1班	2組1班	2組1班	3組1班	3組1班
1組2班	1組2班	2組2班	2組2班	3組2班	3組2班
1組3班	1組3班	2組3班	2組3班	3組3班	3組3班
1組4班	1組4班	2組4班	2組4班	3組4班	3組4班
1組5班	1組5班	2組5班	2組5班	3組5班	3組5班
1組6班	1組6班	2組6班	2組6班	3組6班	3組6班

※ 様々な教科で、スプレッドシート上に共同編集用のリンクを共有し、生徒一人一人が自分のタイミングで他者参照できるようにしている。同じデータの別のシートに単元計画や評価基準を提示する場合もあり、生徒は学びの起点としてスプレッドシートの活用が定着している。

展示品を拝見したうえでわかった事実

西館二階の防災・減災体験フロア

防災用品展示コーナーなどがあり防災用品について学ぶことができました。

西館三階の震災の記録フロア

自然災害の被害や体験した人の思いについて学ぶことができました。

西館四階の震災追体験フロア

阪神淡路大震災の恐ろしさについて体験し学ぶことができました。

東館一階の心のシアター

どのようにして自分の命を守るか、どのように逃げればよいか学ぶことができました。

東館三階のBOSAIサイエンスフィールド

災害はなぜ起きるかなど災害について根本から学び体験しました。

わかった事実

災害は恐ろしいこと。災害をなくすことはできないこと。
防災準備を用意していても避難できないこともあること。
しっかりと防災準備し、避難訓練をし、知識をつけ、いつ災害が起ころとも逃げられる状態にしておくこと。

まとめ

～展示からわかった震災の事実と地域の助け合いの工夫～

- ・人と未来防災センターの再現映像や展示品から災害は恐ろしいことであり、なくすことはできないということ。
- ・避難準備をしていても避難ができないことがあるということ。
- ・しっかりと防災準備をして、避難訓練などで知識をつけ、いつ災害が起きてても逃げられる状態にしておくこと。
- ・『自助・公助・共助』などのそれぞれの人々（例 中学生）の役割をもって、行動することが大切なこと。

～日常のつながりが災害にどう生きるのか～

日常から地域の人々からのつながりを持っておくことで、災害発生直後の救急隊が来る前に協力して、地域の人々を助ける『公助』などの『助ける力』、地域全体で正しい情報を共有しあう『知る力』、避難生活での不安や孤立を声掛けて和らげる『支える力』などに生きて、これらの3つの力をまとめて、『日頃の顔見知り、非常時の命綱になる』とまとめることができます。

<生徒の反応>

日ごろの防災準備や避難訓練といった防災対策がいかに大事か理解できました。

日常生活と関連付ける



もし、災害が起こったときに、自分に何ができるだろう……。地域の取組をもっと調べてみよう……。!

探究的な学びへ



どのような力を育成することを目指して取り組んだか

情報を収集し、目的に応じて整理・分析を行い、まとめたことを表現する活動を繰り返す行うことで、生徒自身が課題意識を持ちながら自己調整する過程で情報活用能力を高めることを目指しました。自由に他者参照できる仕組みを基盤とすることで、他者と協働しながら多面的・多角的な視点を獲得し、論理的に考える力を育成することができました。

リーディングDXスクール事業【情活能力育成】

大阪市立西淀中学校

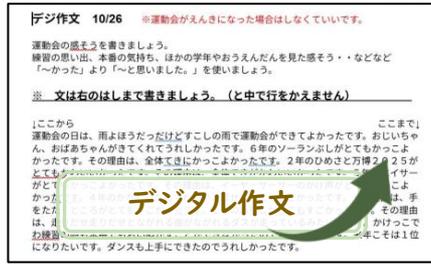
【児童生徒が自立的に学ぶための情報活用能力の具体的な育成実践の例】

情報を収集、整理・分析、まとめ・表現する力の育成 ～9年間を見通した取組～

情報活用能力



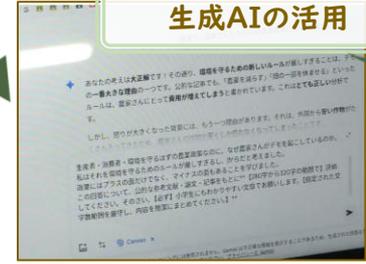
タイピング選手権



デジタル作文



プレゼン作成・発表



生成AIの活用

小学校

中学校

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

2年生

3年生

教科・学校行事

小6:国語

「発信しよう 私たちのSDGs」
情報を収集して、伝えたい思いを
デジタル新聞に表現する。

提案します！ 持続可能な大阪市開発

提案内容
大阪市をSDGs未来都市にすること

姫里小学校

未来のた

中1:総合的な学習の時間

「防災について調べよう」
防災について調べた内容を
まとめ、発表する。

地震のしくみ・種類

被害の理由

なぜ防災対策をしていないのか

中2:社会

「古代国家の成立と東アジア」
歴史的建造物について学び、
その情報をまとめ、発信する。

春日大社のマナー

- 春日大社内の撮影は許可が出た場合OK
- 神車や行事の妨げになる撮影、参拝者の迷惑になるような行為や撮影は禁止
- 禁足地である御蓋山および林野地への侵入や撮影は禁止

春日大社の参拝の仕方

- 鳥居の前で必ず一礼をする。
- 参道を進むときは、どちらか端に歩くと良い。

中3:修学旅行

各クラス、班ごとにプレゼン
を作成し発表。

鳥取県の名物（お土産）について

鳥取県産の「鳥取二十世紀梨ゼリー」

鳥取県産の「鳥取二十世紀梨」

鳥取県産の「鳥取二十世紀梨」

どのような力を育成することを目指して取り組んだか

情報の収集、整理・分析、まとめ・表現する活動を通して、**発信する情報に責任を持ち、相手意識をもった伝える力の育成**を目指した。小学校で育成された情報活用能力を基盤に、**他者参照しながら生徒同士でコメントしたり、生成AIに壁打ちしたりする中で、聞き手の興味・関心を高められるように質の高い内容へとブラッシュアップする姿**がみられた。

大阪市立西淀中学校 第1学年 教科：社会 地理「ヨーロッパ州の農業とEUの影響」

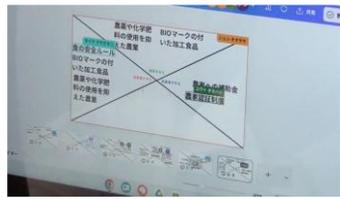
■単元の目標

自然環境に適応した農業の特色やEU統合の背景を理解し、地形や気候と産業の関係、EUがもたらす経済的利点と課題を多角的に考察して説明することができる。多文化共生が現代社会に果たす役割について、持続可能な社会の形成の観点から自分事として捉える態度を育てる。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿（第4小単元）

【学習活動の場面】

EUの農業が持続可能なものになるために、どんな工夫をし、どんな課題があるのか、Xチャートを用いて施策のプラス・マイナス面を整理する。



■GIGA端末とクラウド環境の効果的な利活用と指導上の工夫

①生徒に配付したワークシートを提示し、重要語句について確認できるようにする。



②班で1つのスライドを共同編集しながらまとめられるようにする。



③プロンプト例を用意し、自分の考え(仮説)を示したうえで、なぜデモが起きたのかを調べられるようにする。

④ポートフォリオになるフォームを活用。
*生徒はこれまでの回答一覧をいつでも見ることができる。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】 【導入】

- イラスト3枚からイメージされる国について考える。
 - ・なぜ、これらの地域ではこのような食文化が盛んなのだろう。
 - ・これからずっと食べることはできるだろうか。

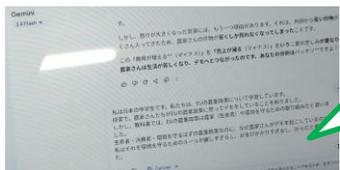
農業が持続可能なものになるために、EUはどんな工夫をし、どんな課題があるのだろう？

【展開】

- 欧州の農業の特色についてワークシートにまとめる。
- 地域の食と欧州の農業の特色を関連させるクイズを作成する。
- EUの農業政策に対する3つの立場への影響を班で共同編集してまとめる。

EUはどのような農業政策を用いて、生産者・消費者・環境を守るようしているのだろう？

- 農家のデモ映像をもとに、施策のマイナス面について生成AIを利用しながらまとめる。



【終末】

- フォームで本時の問いへの回答と振り返りを行う。

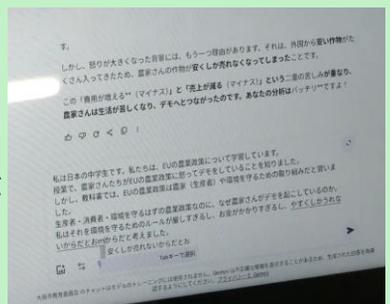


【主体的・対話的で深い学びに向かうための指導の工夫】

評価基準が示されたフォームを使って振り返ることで、生徒自身が次の時間の課題を明確に持てるようにした。

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

生徒は、自分の考えをまとめ、生成AIと対話を繰り返し、回答を確認することで、主体的に質問を繰り返し、納得するまで理解を深めようとする姿が見られた。EUの政策を知識としてだけでなく、異なる立場から多角的に捉えられていた。



大阪市立西淀中学校 第2学年 教科：理科「動物の体のつくりとはたらき」

■単元の目標

消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを、観察・実験の結果などに関連づけて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿（第4小単元）

【学習活動の場面】

ツナマヨおにぎり・チャーシュー麺・ハムバターパンは、食べたときにそれぞれ体の中でどのように分解され、どこに吸収されるか、消化酵素や吸収器官に着目して調べる。



■GIGA端末とクラウド環境の効果的な利活用と指導上の工夫

①クラウド上に学習に必要なリンクをまとめて共有しておく。
*既習事項を確認したり他者参照を行い、ヒントを得ながらまとめられるようにする。



②共同編集しながら効率的にまとめられるようにする。

	炭水化物	タンパク質	脂肪
食べ物の消化酵素	○		
吸収される場所		○	
腸			○
消化・吸収される			○
消化酵素	○	○	○
吸収される場所	○	○	
炭水化物	ブドウ糖	アミノ酸	脂肪酸
吸収される場所	小腸	小腸	小腸

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

○前時の学習内容を振り返る。

「炭水化物・タンパク質・脂肪の中で最も早くエネルギーになるのは何？」

○本時の課題を確認する。

「食べ物を食べると、それぞれの栄養素が体の中でどのように分解され、どこに吸収されるか説明しよう」

【展開】

○身の回りの食べ物を炭水化物・タンパク質・脂肪の3つに分け、それが、どこで分解されて、何という物質になり、どこに吸収されるかをスライドにまとめる。

○炭水化物・タンパク質・脂肪の**吸収速度に違いがあることに着目し、その理由を加筆**する。

食物を分解する唾液、胃液、すい液、胆汁などをまとめて何といいますが。 1ポイント

回答を入力

だ液に含まれる消化酵素は何か？ 2ポイント

回答を入力

【終末】

○確認テストに取り組む。

○本時の振り返りを入力する。

③フォームで作成した小テストは、**何度でも解くことができる**ようにしており、**重要語句の習得をサポート**。

【主体的・対話的で深い学びに向かうための指導の工夫】

各時間のつながりを意識できるように、**学びの起点となるシートに「課題例」を共有**しています。単元を通した問いを一覧化することで「何を学ぶか」が明確になるとともに、生徒が個別に探究を進める上での指針になっています。

- ヒトのからだで消化を行う場所を図を用いて説明しよう。その器官の名前も図に表して、その器官の役割も簡単に説明しよう。さらに、その消化器官の中にある消化液も図の中に加えてみましょう。
- 炭水化物とタンパク質の違いは何？脂肪と糖質の違いは何？消化酵素って何？炭水化物・タンパク質・脂肪の消化酵素はどこで分泌されて、何になるの。(この時、何の消化酵素が関与するか。)表や図を用いてわかりやすくまとめてみましょう。
- ①ツナマヨおにぎり・コマ入りラーメン(チャーシュー・チャーシューメン)・ハムバターパンから1つ選ぼう。(指で分ける)②①で分けたものを、体のどのどこでどのように分解され、最終的に何になるか。また、その物質はどこに吸収されるかを説明しよう。(文字と図を使うこと)吸収される場所がわかりやすくなるようにしましょう。
- 炭水化物・タンパク質・脂肪の中でエネルギーになるのが一番速いのは何？それはなぜか？まずは資料集や、今まで習った知識を使って考えてみよう。
- 炭水化物・タンパク質・脂肪の中でエネルギーになるのが一番遅いのは何？それはなぜか？まずは資料集や、今まで習った知識を使って考えてみよう。

【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

疑問に思ったことを伝え合いながら学習を進めるなかで、**栄養素ごとに吸収器官が違う理由について既習事項や生活経験と関連付けて考える姿がみられました**。また、スライドはクラウドで共有され相互参照できるので、相手に伝わるように表現を再考するなど、**学びを深めることができました**。



大阪市立西淀中学校 第3学年 教科：社会 公民 「政治と私たち」

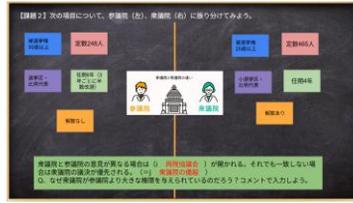
■単元の目標

- ・国会を中心とする民主政治の仕組みや政党の役割等を理解する。
- ・国民の願いを実現するための政治の仕組みを理解し、政治に参加する意識をもつ。

■資質・能力が育成され「深い学び」に向かおうとしている子供の姿（第5小単元）

【学習活動の場面】

衆議院と参議院の権限を比較し、任期や解散の有無の違いと関連付けて衆議院の優越について考える。さらに、二院制の意義について考える。



■GIGA端末とクラウド環境の効果的な利活用と指導上の工夫

①フォームで作成した小テストを実施する。
*知識の定着を図るとともに個別の習熟度を把握することができる。



②クラウド上のスライドを板書の代わりに活用し、意見や資料を共有する。
*生徒がリアルタイムに資料を引用したり、質問や発見等のテキストを貼ることができるので、意見を効率的に行うことができる。



③シートをもとに生徒一人一人の進捗状況や習熟度を確認する。
*適宜進度を把握してコメントを入力することにより、個別最適化された声かけを行うことができる。

【主体的・対話的で深い学びを実現する具体的な学習活動】

【導入】

- 前時の学習内容を振り返る。
- 国会議事堂にある銅像について、4人目の台座はなぜ空席なのか考える。
- 本時の課題を確認する
「国会ではどのような仕事をどのような仕組みで行っているのだろう。」



【展開】

- 国会議員の主な仕事についてスライド資料を参考にまとめる。
- 衆議院と参議院を比較し、衆議院の優越について考える。
- 衆議院の優越として認められているものについて考える。

【終末】

- シートに本時の問いの答えと振り返りを入力する。

18	10月29日	日本では、なぜ様々な選挙制度で選挙が行われているか	日本では様々な選挙制度が行われている理由は、それぞれの選挙の目的や性質に応じて、最も適した制度を採用しているからである。選挙制度の目的は代表の選び方を決めること。誰をどのようにして代表を決めるかの仕組みです。しかし、どんな代表を選びたいかは国の政治体制と地方の政治、議会と議員によって異なります。なぜ日本は1つに統一しないのか。それは日本は1つの国に1つの制度という考え方で制度を働かしているからである。つまり日本は様々な選挙制度が使われているのはそれぞれの選挙の目的、役割に最もふさわしい方法を採用しているからである。	A	普通選挙、平等選挙、秘密選挙、直接選挙、公職選挙法
19	11月13日	国会はどのような仕事をどのような仕組みで行われているか	衆議院と参議院にそれぞれ違いがあり衆議院は、定数484人、任期4年、解散あり、選挙権25歳以上、小選挙区、比例代表がある。また衆議院と参議院の意見が異なる場合は、両院協議会が開かれる。それでも一致しない場合は、衆議院の議決が優先される。(衆議院の優越)	A	衆議院の優越、両院協議会、予算の議決、不信任決議
20	11月13日	国民の事情はどのように行われているのだろう	国会の審議は、議員と内閣が、法律案を提出→委員会→本会議→議決→議員→本会議→可決→成立→署名→内閣→公布→天皇→国民の権限となる。これは法律ができるまでの流れで、2022年4月4日子供憲法案を提出→4月19日から5月13日衆議院の内閣委員会を審議し、5月13日に採決し、可決→5月17日衆議院で採決し、賛成多数で可決→5月18日から6月14日参議院の内閣委員会を審議し、6月14日に採決し可決→6月15日参議院で採決し、賛成多数で可決、成立。→6月22日公布→2023年4月1日施行という流れになる。……満足でこれらの流れは専門家などの意見を聞く公聴会が開かれることもあります。	A	衆議院の優越、不信任決議、充員特権

【主体的・対話的で深い学びに向かうための指導の工夫】

振り返りシートは、習熟度を把握する手立てとして毎時間取り入れていきます。振り返りの内容から、既習の内容と関連付けられているものや、多面的・多角的な考察ができていく記述に色を付けて着目できるようにしたり、紹介したりすることで、ポイントとなる見方・考え方を共有しました。



【資質・能力が育成され深い学びに向かおうとしている子供の姿】

気になったことを調べてその場で共有することで、「なぜ解散があるのか」「その都度国民に意見を問い直すことができる」「国民の意思を直接的・即時に反映できる」など、多面的・多角的な気づきが生まれ、学びを深めることができました。



【小中連携】小中連携チームを作成し、学校間で実施要項を共同編集

小中連携で行う学校行事の要項をクラウド共有

…ドキュメントで実施要項を作成。役割分担や日時の詳細などを各校で加筆。クラウド共有のため、常に最新の情報が確認可能。

教職員の反応



(小学校教員)
電話連絡やメールの報告をせずに必要事項だけを入力すればいいので時短になりました。



(中学校教員)
当日の部活動体験の人数が事前にわかるので、人数調整等しやすかったです。

取組のねらい・実施にあたり工夫した点 等

クラウド上のドキュメントで要項を作成することで、**複数の小中学校が同一のデータに同時にアクセス・入力**することができます。紙媒体の送付や電話連絡、メールのやり取りを最低限にし、**入力・確認・集計を徹底**。入力内容が即時反映されることで、部活動体験の受入人数の把握や調整を迅速に行えるようになり、教員間のやり取りに要する時間や手間を削減することができました。

1 共同編集する資料のリンクを送信

ドキュメントへのリンク共有を行う。

① 授業の要項

- 各学校ごとに実施する授業を記載しています。
- 内容をご確認ください。
[授業の要項](#)—リンク

② 部活動体験の要項

- スプレッドシート形式になっています。
- まず「要項・お願い」のシートをご覧ください。
- 各学校ごとに部活動の希望をとっていただき、決定した人数を各学校のシートにご入力ください。
入力期限：10月下旬まで
[部活動体験の要項](#)—リンク



2 集計の一元化

小学校ごとのシートに人数等を入力。質問があれば備考欄に入力することで、電話やメールといった他の媒体を利用することなく進めることができる。



部活名	最大参加人数	児童参加者数	備考 (何かあればこちらに入力をお願いします)
軟式野球部	12	12	
サッカー部	12	4	
陸上競技部	12	10	
女子ソフトテニス部	8	8	
男子バレーボール部	8	2	

部活名	最大参加人数	〇〇小学校	△△小学校	◇◇小学校	合計
軟式野球部	30				0
サッカー部	30				0
陸上競技部	30				0
女子ソフトテニス部	20				0

【校務DX】 行事予定表をもとに、学校行事に関するデータを一元管理

行事予定表のスプレッドシート化



…スプレッドシートを共同編集し、行事予定表を効率的に作成。



…全教員が所属するClassroom にアップロードして、いつでも参照可能に。

教職員の反応



行事予定がスプレッドシート化されたことにより、いつでも予定を確認できるようになりました。



各学年の取組を一覧で見ることができるので、他の学年の様子も見に行きやすくなりました。

1 学年主任に道徳や総合的な学習の時間の計画を入力してもらい、各学年の取組を把握

12月				
1月	生徒評議会		6限	道徳⑮
2火	火654321, 6限 職場体験事前指導	評定入力締切	1限	道徳⑯
3水	2年生職場体験	評定確認		
4木	2年生職場体験, 5・6限 3年生進路写真		5・6限	進路写真
5金	油引き	連絡協議会 (12月) 16時~	6限	2学期の振り返り・各種アンケート
6土				
7日				
8月	45分授業	職員会議 (12月) 15時40分~	6限	道徳⑰
9火	45分授業×4限, 学期末懇談・進路懇談		1限	道徳⑱

+ 三 主任入力_1年 主任入力_2年 主任入力_3年 年間2025 年間2026

赤で囲んでいるところを選択し、取り組みがあれば入力

2 各学年の取り組み内容の一覧化

日	曜	1年①_時	1年①_取	2年①_時	2年①_取	2年①_場	3年①_時	3年①_取
1月				6限	職場体験⑤ 事業所別最終確認		6限	道徳⑮
2火	6限	道徳		6限	職場体験事前指導	体育館	1限	道徳⑯
3水				全日	職場体験 1日目			
4木	6限	振り返り・タブレット点検		全日	職場体験 2日目		5・6限	進路写真
5金	6限	校外学習取り組み②		6限	職場体験 (アンケート・礼状作成)		6限	2学期の振り返り・各種アンケート

取組のねらい・実施にあたり工夫した点 等

行事予定表をもとに、学校行事に関するデータをスプレッドシートで一元管理したことにより、最新の情報を誰でも自由に確認することができます。また共同編集できるので、教職員一人一人のタイミングで加筆・修正することができます。さらに、授業時数を自動計算したり、大型モニターに提示することができたりと、さまざまな点で時間短縮につながっています。

【生徒会】生徒会活動をクラウド化 効率的に作業を進める仕組みを構築

 生徒会議事録をスプレッドシートにすることで
アイデアや進捗状況を共有

生徒評議会の議事録としてスプレッドシートを活用。
各学年の協議内容や教員との共有を簡単に。

1年学年代表		2年生	
目標	前期のパン受け取った文化発表会に向けて一人一人が全力でスタートを切ろう！	5・4・3・2・1	声掛けが以前以上に定着してきている。いつも元気な声を出している人がいた。
目標	今の自分を再発見しよう。あっという間に終わる2年生。～未来の自分を考えよう！～	2年生	質疑の時間ほどで済ませることを意識していた。声掛けができていた人が増えていたが、シヤツが脱いでいた。という意見もあつた。
目標	3年学年代表	5・4・3・2・1	最後まで頑張ってきた。自分自身でできることを頑張ってきた。声掛けをしなればならない場面がシヤツが脱いでいるなど、まだ完全にできていない。という意見があつた。
保健委員会		保健図書	
1年生	声を出して、メリハリつけ授業態度を良くして朝の始末の力を全力でやろう！！	目標	目標
2年生	3階に向けて再出発。基礎を固めて自律しよう。	5・4・3・2・1	読書のときなどに3階を掃除するゲームをする(読書活動)
3年生	～高3スタート。自律(自立)できる自律をつくろう。	目標	目標
運動委員会		読書の会	
目標	トリックアートプリント。巻末を返さないでずらしちゃうぞ	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
目標	目を大切にすると習字をみにつくよう	目標	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
実行委員会		読書の会	
目標	読書スタートと読書一冊を楽しく読みたいよう	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
目標	文化委員会	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
目標	毎日、読書の日のように本を借りに入れよう	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
目標	主眼	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)
目標	読書、聞く、新しい読書へ。	読書の会	読書の会の発表が楽しみ。どうすれば読者がやる気を出してくれるか(1-)

生徒の反応



個々でできる作業は、空き時間にできるので、集合する時間をとって作業する必要がなくなり、負担が少なくなりました。



「終学活でゴミ拾いゲーム」か・・・なるほど。うちのクラスもやってみようかな。風紀委員会の取組も面白そう！

取組のねらい・実施にあたり工夫した点 等

生徒会活動の取組においてクラウドを活用し、効率的に進める仕組みを構築。プリントに手書きで記録していた生徒評議会の議事録をスプレッドシートを用いた共同編集へと移行し、情報の即時更新および教職員への円滑な共有が可能となりました。活動記録をデータとして継続的に蓄積・管理することで、過去の協議を容易に参照できるようになり、年間を通した比較・分析、振り返りによって多くのアイデアが生まれました。

1 学校スローガン募集

学校スローガンについて、Googleフォームでアンケートを作成、集約し、スプレッドシートで一覧化。選定作業がスムーズに。

令和7年度 学校スローガン募集

全校集会で生徒会から説明のあった学校スローガンについてです。体育大会や文化発表会で活用するものになります。

2 生徒会新聞で周知

生徒会新聞は協働学習支援ツールで作成することで、それぞれが自分のタイミングで作業を進めることができる。完成した新聞は印刷して掲示。

意見箱が設置されました

12月8日から12日までの一週間、鏡横に意見箱が設置されました。今回の結果をもとに本格的な設置を考慮する予定です。たくさんのご意見ありがとうございました。これからの改革に参考にさせていただきます。

生徒会新聞

3 生徒評議会のスプレッドシートで進捗状況を共有

会議の進行をスプレッドシートで行い、全教職員と共有。発行物の校閲や会議室の利用など、添削や調整を効率化。